

園の実践事例紹介～「科学する心」を育てる～

社会福祉法人遍照会 東大沢保育園（埼玉県）

「すごい！」「おもしろい！」など、一人ひとりの中に育まれている「科学する心」に丁寧に寄り添うには、園の全職員の心持ちを共有し、対話を重ねていくことが大切です。

東大沢保育園では、子ども達の様々な思いのサインを『たからもの』と捉え、子どもを取り巻く環境についても柔軟に形を変えながら、その子その子の興味関心、個性を様々な「色」をテーマに、成長を支えていけるように取り組んでいます。

● 色の興味から探究へ

✦ 色はピンク？信号は緑？ ～身の回りの色への興味～ 4歳児

《エピソード①》

保育者「Rさん桃色の洋服に着替えたんだね」

Rさん「桃色？これはピンクだよ！」

Hさん「薄ピンクじゃない？」



色の違いを伝えあう

《エピソード②》

Rくん 「もうすぐ信号が変わるね」

Mさん 「あっ青に変わった」

Rくん 「黄色、赤、緑の順番だよ！

あっ間違えた！黄色、赤、青だね！」



窓から見える信号が変わる様子を見る



信号

上記のエピソードが面白いと感じた保育者は次の日に、幼児異年齢のサークルタイムで子ども達と共有すると、身近な色に注目して色を伝えあったり、比べたりする姿がみられました。

おもしろい！

保育者のワクワク

